

# 第34回鎌ヶ谷市民空手道大会 大会要項

## 1. 競技種目

No.	種目(形競技)		No.	種目(組手競技)	
1-a	幼年	男子の部	18-a	幼年	男子の部
1-b		女子の部	18-b		女子の部
2-a	小学生	1年生 男子の部	19-a	小学生	1年生 男子の部
2-b		1年生 女子の部	19-b		1年生 女子の部
3-a		2年生 男子の部	20-a		2年生 男子の部
3-b		2年生 女子の部	20-b		2年生 女子の部
4-a		3年生 男子の部	21-a		3年生 男子の部
4-b		3年生 女子の部	21-b		3年生 女子の部
5-a		4年生 男子の部	22-a		4年生 男子の部
5-b		4年生 女子の部	22-b		4年生 女子の部
6-a		5年生 男子の部	23-a		5年生 男子の部
6-b		5年生 女子の部	23-b		5年生 女子の部
7-a		6年生 男子の部	24-a		6年生 男子の部
7-b		6年生 女子の部	24-b		6年生 女子の部
8	中学生	中学生 有級の部	25	中学生	中学生 男子の部
9		中学生 有段の部	26		中学生 女子の部
10	高校生	高校生 男子の部	27	高校生	高校生 男子の部
11		高校生 女子の部	28		高校生 女子の部
12	一般	男子 有級の部	29	一般	男子 有級の部
13		男子 有段の部	30		男子 有段の部
14		女子 有級の部	31		女子 有級の部
15		女子 有段の部	32		女子 有段の部
16		男子 シニアの部	33		男子 シニアの部
17		女子 シニアの部	34		女子 シニアの部
			35	団体	小学生団体組手の部

注: エントリー数が少ない種目は、他種目と統合又は実施しない場合があります。実施しない場合は参加費を返却します。

注: シニアの部は男女とも、試合当日満40歳以上を対象とします。

## 2. 形競技

	準決勝まで	決勝
幼年の部	基本形(太極を含む)	
小学生の部	基本形	使用していない基本形 又は 指定形
中学・高校・一般・シニアの部	基本形・指定形	使用していない基本形・指定形 又は 得意形

- ① トーナメントによる旗判定方式 決勝まで二名同時に演武を実施
- ② 小学生は準決勝戦まで基本形(平安、ピンアン、撃砕1, 2)とし連続して同じ形を演武してもよい。  
決勝戦は指定形または準決勝戦まで使用していない基本形とする。
- ③ 中学生・高校生・一般・シニアは準決勝まで基本形又は指定形とし連続して同じ形を演武してもよい。  
決勝戦は得意形または準決勝まで使用していない基本形・指定形とする。
- ④ マスクを着用しても良い。(材質・色は規定しない)

### 3. 組手競技

種目	時間	勝負
幼年の部	1分00秒フルタイム	4ポイント先取り
小学生・中学生の部	1分30秒フルタイム	4ポイント先取り
高校・一般の部	1分30秒フルタイム	4ポイント差又は6ポイント先取り
団体の部	1分00秒フルタイム	4ポイント先取り

選手は指定の安全具(JKF 指定・検定品のもの)を必ず装着すること。

- ①ニューメンホーV・VI・VII
- ②拳サポーター赤・青(白可)、リバーシブル、中学生以上は従来の赤青サポーターとする。
- ③ボディプロテクター
- ④シンガード・インステップガードは任意とする。(JKF 指定・検定品のもの、もしくはメーカー品の赤青の製品も可)
- ⑤セーフティカップは任意とする。
- ⑥飛沫対策をしたメンホー(マウスシールド・透明テープ・マスク着用)を使用すること。
- ⑦マットを使用しない大会の為、中学生以上の投げ技及び倒し技は禁止とする。

### 4. 団体組手

- ① 3名1チームとする(男女は問わない)。
- ② 初戦は、3名全員組手競技を実施する。2戦目以降は、勝敗が決した時点で終了とする。
- ③ 参加チーム数は、1団体1チームとする。
- ④ 各チームは小学5、6年生で構成する(低学年も可)
- ⑤ 各チームに監督を選定する。
- ⑥ 組合せは当日抽選とする。
- ⑦ 他道場との混合チームは不可とする。